

風土工学の視座

富士常葉大学大学院教授
富士常葉大学環境防災学部教授
附属風土工学研究所所長

工学博士 竹林征三 著

A5判/上製・324頁・定価4,725円(税込み)

「序」より

風土工学について、どのように説明すれば理解を深めていただくことができるか、ことあるごとに悩み続けてきた。雑誌や新聞等々で風土工学の考えを述べさせていただく場も多く与えられた。工学としての風土工学が取り入れている感性工学や認知科学の手法は、あくまでも道具でしかない。よい道具を手に入れば、より上手く風土工学を展開できることは確かである。風土工学とは風土をどのように見るのか、それが一番大切なのである。

風土工学の風土の見方や考え方をまとめた小論が、相当量ストックできてきた。それを編集し直すと、風土工学の考え方に対する理解を深めていただける格好のテキストができた。10年前に『風土工学序説』として風土工学の体系の概要を世に出したところであるが、その折、「序説」というかぎりはいずれの日にか「総説」を世に出さなければならないと思っていた。今回、風土工学の考え方を随所で相当深く掘り下げて書いたため、風土工学総説の全編とは言えないまでも、風土工学総説の何分の一かにはなったのではないかと考える。

ライフワーク
の集大成!!



著者紹介特別価格 4,200円(税・送料込み)

第1章 はじめに

1 「かっこ鳥」の鳴く社会—閑古鳥と諫鼓鳥/2 土木の「つもり違い」十ヶ条—何かか噛み合っていない!何かが変だ

第2章 「豊かさ」を求めて

1 「豊かさ」とは「豊かさ指標」の物議/2 「豊かさ」の履き違え

第3章 郷土への思い

1 「郷土」と「風土」—ところを付加する概念—/2 「郷土」と「風土」の復権/3 「かぞえる」ことに尊厳が生まれる/4 「風土不二」のころ/5 富士学の思い—「富士学」と「風土工学」—/6 「富士学」の提唱—「富士山学」ではなく「富士学」の視座

第4章 景観十年・風景百年・風土千年

1 3Kと風土工学—土木の景観設計—/2 景観・風景・風土・英語では?/3 景観十年・風景百年・風土千年

第5章 美なるものを求めて

1 「真」「善」「美」と「用」「強」「美」/2 「美」なるものは無駄をつくらず/3 日本人の感性が編み出した美の法則/4 大きな秩序が大きな「美」を生む/5 良い加減な「美」の追求/6 美なるものには物語がある/7 技術と芸術、ものづくり、美の追求

第6章 風土の誇り

1 「自己と他己」と「自分と他分」—自分のことは自分が最もよく知る?—/2 アイデンティティの「四つの窓」/3 地域おこし三種の神器

第7章 六大風土からの伝言—六感を育み、風土を参照—

1 風土を見つめる感性を育む—六大風土からの伝言と六相円融—/2 地名が語りかける伝言—大地のころ・大地の記憶—/3 大地からの伝言/4 千変萬化の「水」が語りかける伝言—「知水」「敬水」「馴水」のころ—/5 生類からの伝言/6 大気からの伝言—風が治定した八風の文化—/7 先人が伝えたかった思い—歴史文化風土を考える5つの視座—/8 活力源風土からの伝言—風土がつくる気質・気質がつくる風土—

第8章 風土と地質

1 風土調査と地質調査/2 地質の構造と風土の構造

第9章 大地との会話

1 土木は大地の彫刻家/2 大地との会話—「切・盛・抜・刺」の物語/3 大地鎮めのころ—一切・二盛・三抜・四刺・五PS—/4 活断層に対する礼儀—避け・二平面・三盛・四切・五単純—/5 「天下り設計論」と「地上り設計論」

第10章 ものづくりの技と心

1 技術基準と「職人と匠」の技/2 たまにきずの文化とつぶし・つくり変える文化/3 土木と建築・隣芝生/4 民族造形と風土工学

第11章 想像と創造

1 個の独創と群の創造/2 ふるさとの形が語る物語/3 想像するもの「かたち」—ギリシャの星座と日本の雪形—/4 想像するもの「かたち」—西洋の悪魔と東洋の鬼—/5 郷土の誇りを「かたち」に—「上毛かるた」に学ぶ/6 都道府県の「かたち」いろいろカルター鶴舞う「かたち」に学ぶ—/7 県名の「名前」いろいろカルター—都道府県名・由来縁起物語—

第12章 市町村合併と風土

1 良好風土は1日にしてならず/2 市町村合併と風土の形成/3 ラモ—ト合併に学ぶ—平成の大合併への提案—

第13章 なくしてしまった美徳

1 規律なき自由と結果の平等—「個の尊重」と「自由平等」の合作—/2 日本人の美徳「26のNON」の物語—20世紀なくしてしまった日本人の美徳—/3 「12の徳目」の再評価—日本人の「ころ」を育む徳育を—/4 不易の智を学び現代に活かす感性

第14章 土木工学から風土工学へ

1 土木はその地その地における一品料理/2 満足拡大の土木と不満解消の土木/3 環境と風土/4 利便・安全国土になって、良好風土を知る/5 良好風土形成に資する種/6 土木施設の本性と本願/7 土木事業に「知」「馴」の視座/8 良好風土形成に向けて知行合一/9 土木にヒューマンインターフェイスを求めて/10 土木事業に求められている「美」の3つの側面/11 土木施設の名前を考える/12 土木は大地に名をつける仕事/13 秩父多摩国立公園名を考える

第15章 風土工学の構築

1 風土工学の目指すもの/2 感性工学と風土分析/3 「まちおこし」の体系・風土工学/4 4つの「わが町の個」

第16章 風土工学デザイン

1 風土工学・意味空間の設計/2 風土工学・5大演出シード/3 景観設計 第1法則—かたちの「美」は「用」を究めることにより自ずから生ず—/4 景観設計 第2法則—「いろ」の美は感性のより定まる 感性は磨くもの—/5 景観設計第3法則—素材・模様は新羅万象から受け取る—/6 風土工学「美」の構成原理—無形と有形・2つの「造形の秩序」の追求—/7 風土工学の基本4原理/8 風土工学基本4プロセス

第17章 風土工学・閑話

1 工学はものづくりの実学・デザインと積算—土木工学は虚学にあらず—/2 国家経営と民間企業経営・企業の寿命—国家百年の計の公共事業としての国幹道路—/3 都会は花、地方は根—こ—地方切り捨て経済効率一辺倒政策の末路—/4 違算、誤算は土木の花、会計検査は土木の祭り—土木技術者の誇りと倫理観—/5 会計検査制度改革の夢—性善説から性善説へのパラダイムシフト—

第18章 おわりに

1 学際でなく文理シナジ—今も求められている文理融合—/2 風土工学は文理シナジ—をめざす—無形な「風土」と有形な「土木」を同時につくる—/3 結果でなく過程—「徹底的な分析」と「必死の過程」—/4 夢と勇気と少々の知恵—創造の3要素と3CとABC—/5 21世紀の工学・風土工学の思い—「地域愛」と「知恵」と「少々のセンス」—/6 風土工学のすすめ

第19章 鼎談

1 マチ—祭・市・町
《蘭田稔/竹林征三/田代順孝》
2 NPO風土工学デザイン研究所設立記念座談会
《高橋裕/蘭田稔/田村喜子/竹林征三》

■ご希望の方は、本注文票に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお送りください。

申込み先 風土工学デザイン研究所

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1丁目23番地

TEL: 03-5283-5711 FAX: 03-3296-9231

『風土工学の視座』【竹林征三著】 (価格 4,725円 税・送料込)		注文部数	部
フリガナ お名前			
ご送付先 〒		TEL	(ご自宅/お勤め先)

■書籍は直接お送り致します(請求書同封)。